



目次

- 1. 改訂情報
- 2. はじめに
 - 2.1. 本書の目的
 - 2.2. 対象読者
 - 2.3. 本書の構成
 - 2.4. Forma全文検索の利用にあたっての前提条件
- 3. IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner（Forma全文検索機能）について
 - 3.1. Forma全文検索の機能概要
- 4. Forma全文検索のセットアップ方法
 - 4.1. プロジェクトの作成とモジュールの選択
 - 4.1.1. IM-Juggling のインストール
 - 4.1.2. プロジェクトの新規作成
 - 4.1.3. モジュールの選択
 - 4.1.4. アプリケーションの追加
- 5. Forma全文検索の設定方法
 - 5.1. Forma全文検索の基本仕様
 - 5.2. Forma全文検索管理画面の操作手順
- 6. Forma全文検索のクローラジョブの操作方法
 - 6.1. Forma全文検索のクローラジョブの基本仕様
 - 6.2. Forma全文検索のクローラジョブの操作方法
- 7. Forma全文検索の操作方法
 - 7.1. 案件検索

変更年月 日	変更内容
2014- 09-01	初版
2015- 08-01	第2版 下記を追加・変更しました。 <ul style="list-style-type: none">「Forma全文検索のクローラジョブの操作方法」のクローリングジョブの実行手順を更新しました。
2016- 12-01	第3版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">「IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner (Forma全文検索機能) について」に IM-BIS に関する説明を追加しました。
2019- 04-01	第4版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">「Forma全文検索の設定方法」のForma全文検索管理画面の操作手順に、画面アイテム「スプレッドシート」に関する説明を追加しました。
2023- 04-01	第5版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">「プロジェクトの作成とモジュールの選択」 - 「プロジェクトの新規作成」の説明を修正
2023- 10-31	第6版 下記を変更しました。 <ul style="list-style-type: none">「プロジェクトの作成とモジュールの選択」 - 「プロジェクトの新規作成」にカスタマーサクセスライセンス向けのアドバンスエディションに関する説明を追加

項目

- 本書の目的
- 対象読者
- 本書の構成
- Forma全文検索の利用にあたっての前提条件

本書の目的

本書では IM-Workflow 、 IM-FormaDesigner for Accel Platform のクローラ、全文検索の機能概要と操作方法について説明します。

対象読者

次の利用者を対象としています。

- intra-mart Accel Platform の IM-Workflow / IM-FormaDesigner の全文検索機能（ IM-ContentsSearch ）を管理する運用担当者
- 開発した IM-FormaDesigner の全文検索を設定するアプリケーション作成管理者、作成者
- intra-mart Accel Platform の IM-Workflow / IM-FormaDesigner の全文検索の利用者

本書の構成

本書は次の構成となっています。

- [IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner \(Forma全文検索機能\) について](#)
IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner (Forma全文検索機能) の概要について説明します。
- [Forma全文検索のセットアップ方法](#)
Forma全文検索のセットアップ方法について説明します。
- [Forma全文検索の設定方法](#)
Formaアプリ作成者、Formaアプリ作成管理者向けにForma全文検索の設定方法について説明します。
- [Forma全文検索のクローラジョブの操作方法](#)
テナント管理者（ジョブスケジューラ管理者）向けにクローラの操作手順について説明します。
- [Forma全文検索の操作方法](#)
一般利用者向けに IM-Workflow / IM-FormaDesigner の全文検索の操作方法について説明します。

Forma全文検索の利用にあたっての前提条件

Forma全文検索を利用する場合には、下記の前提条件を満たしている必要があります。

- 検索対象とできるアプリケーションは、 IM-FormaDesigner のアプリケーション種別が「IM-Workflow」となっていること
- 利用する環境には、以下のアプリケーション（モジュール）が設定されていること
 - IM-Workflow
 - IM-FormaDesigner for Accel Platform

- IM-ContentsSearch
- IM-ContentsSearch for IM-Workflow
- IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner

ormaDesigner — IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner 操作ガイド 第6版 2023-10-31

IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner (Forma全文検索機能) について

「IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner (以下、Forma全文検索機能)」は、「IM-Workflow 全文検索機能」の機能を拡張し、IM-FormaDesigner と IM-Workflow、IM-BIS で申請・処理が行われた案件の全文検索を行うことができる機能です。

「ワークフローローラ」(IM-Workflow 全文検索)と異なり、検索対象の設定にはプログラミングを必要とせず、Forma全文検索管理の設定で自由に検索対象を設定することができます。

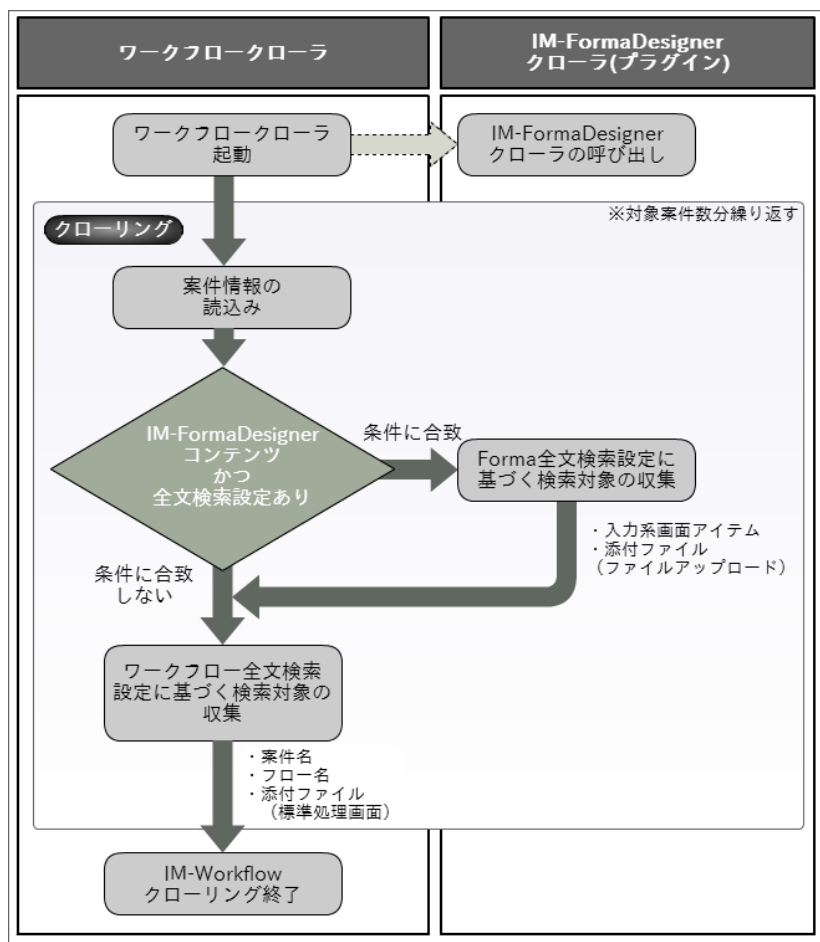


コラム

- IM-BIS の案件を対象とした全文検索の設定はForma全文検索管理で設定できます。

Forma全文検索の機能概要

「Forma全文検索」は、ワークフローローラのプラグインとして、下記の図のようにワークフローローラと連携して動作します。



Forma全文検索のセットアップの基本的な操作手順については、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」の「[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)」を参照してください。

本項では、IM-FormaDesigner、Forma全文検索に特化した手順について説明します。

「[Solrのセットアップ](#)」のセットアップを行った後、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」にしたがってセットアップを実行してください。

プロジェクトの作成とモジュールの選択

項目

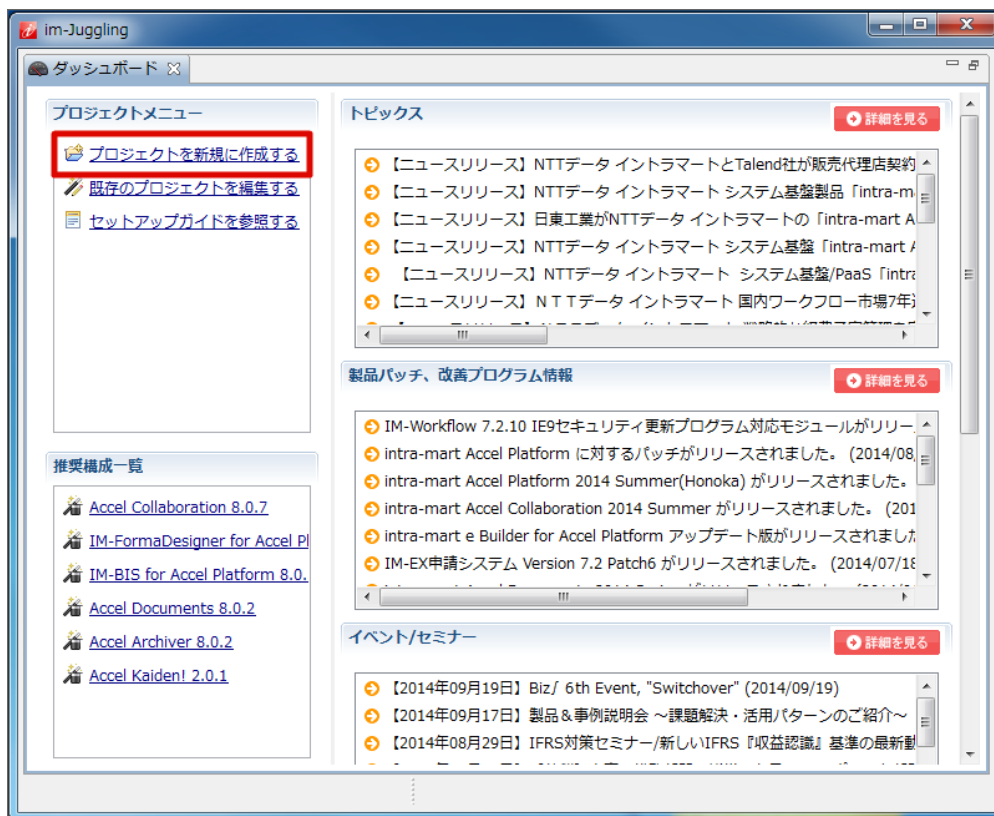
- [IM-Juggling のインストール](#)
- [プロジェクトの新規作成](#)
- [モジュールの選択](#)
- [アプリケーションの追加](#)

IM-Juggling のインストール

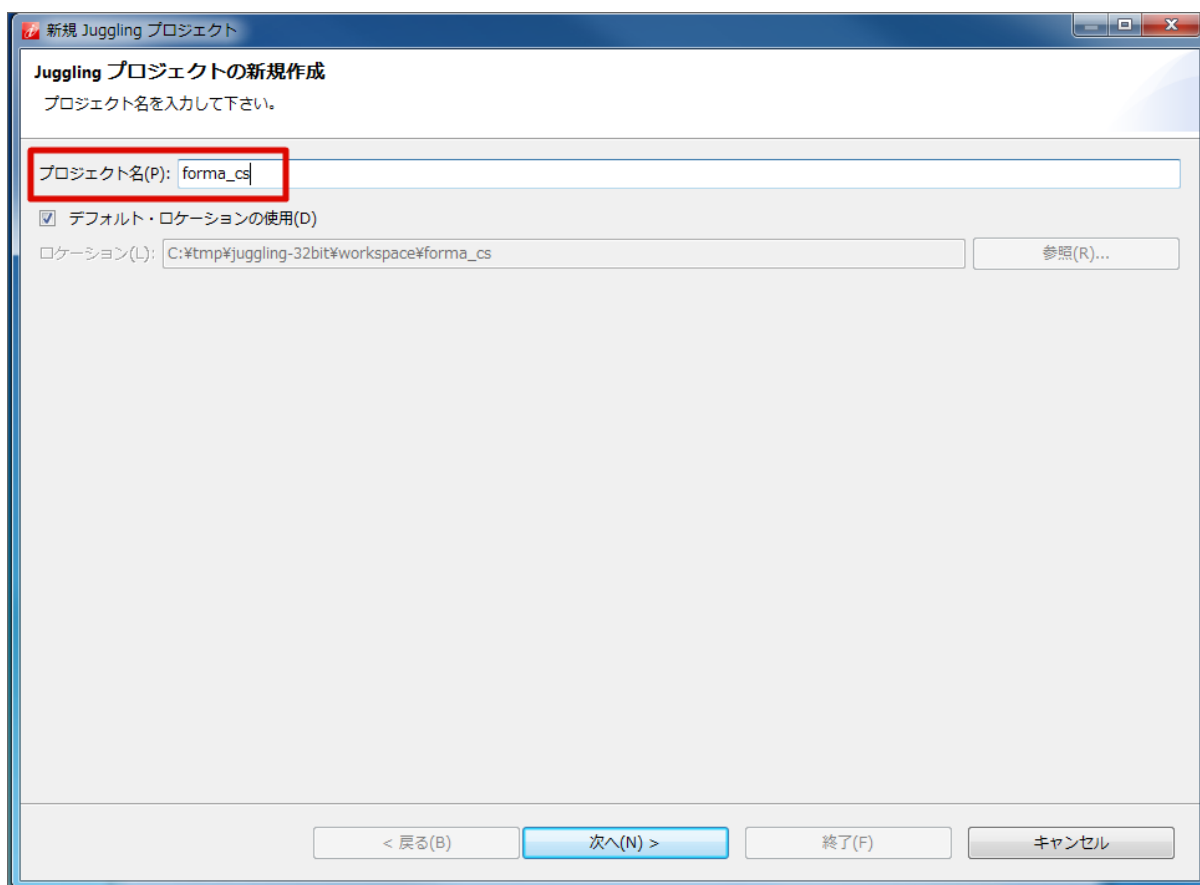
「IM-Juggling のインストール」については、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」の「[プロジェクトの作成とモジュールの選択](#)」を参照してください。

プロジェクトの新規作成

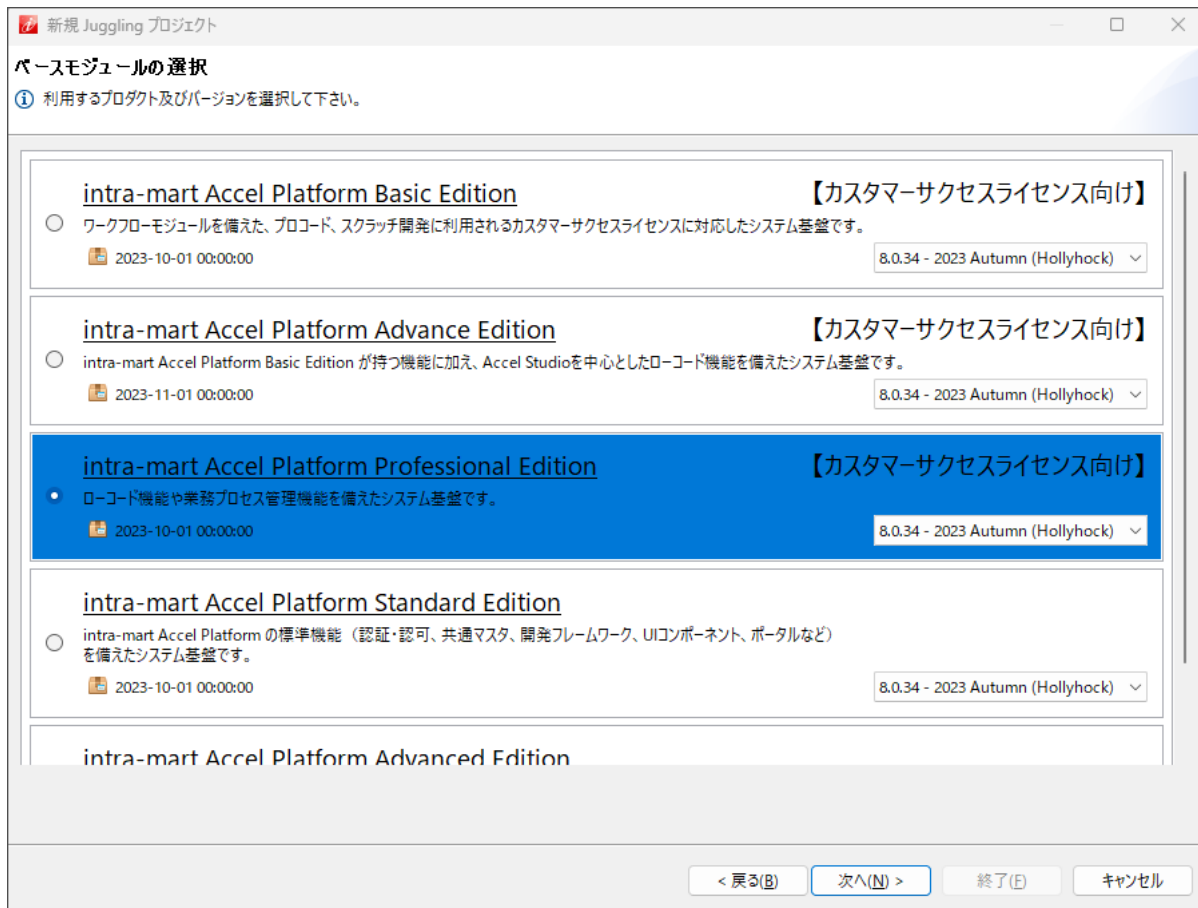
1. 展開したディレクトリ直下にある、**juggling.exe** を起動します。
2. 初回起動時の場合、「使用許諾契約書の同意」が表示されます。
「同意する」を選択し「OK」をクリックします。
3. ダッシュボードが表示されます。
「プロジェクトを新規に作成する」を選択します。



4. ポップアップ表示されたウィザード画面内の「プロジェクト名」に半角英数字の任意のプロジェクト名を入力します。
入力後、「次へ (N)」 をクリックします。



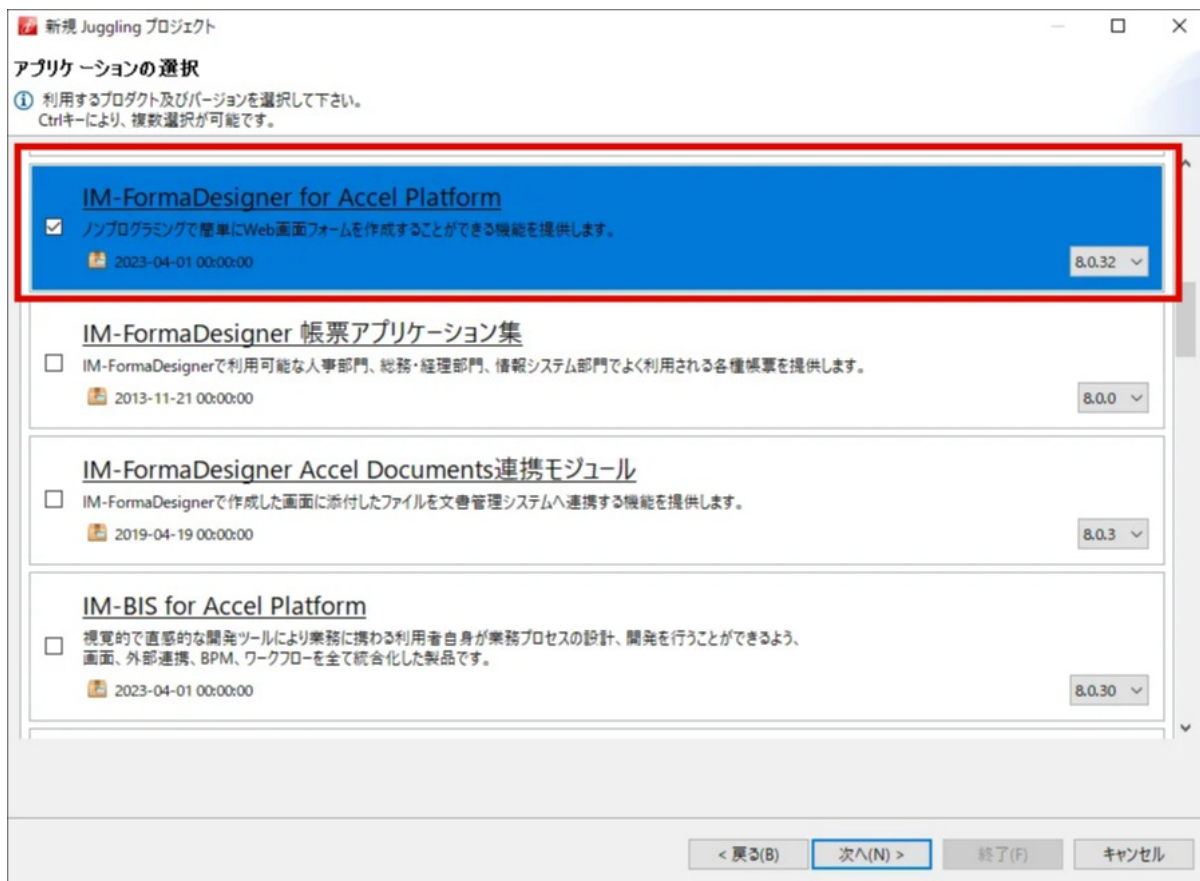
5. 利用するプロダクトで「intra-mart Accel Platform Advanced Edition」または、カスタマーサクセスライセンス向けの「intra-mart Accel Platform Advance Edition」または「intra-mart Accel Platform Professional Edition」を選択します。
選択後、「次へ (N)」 をクリックします。



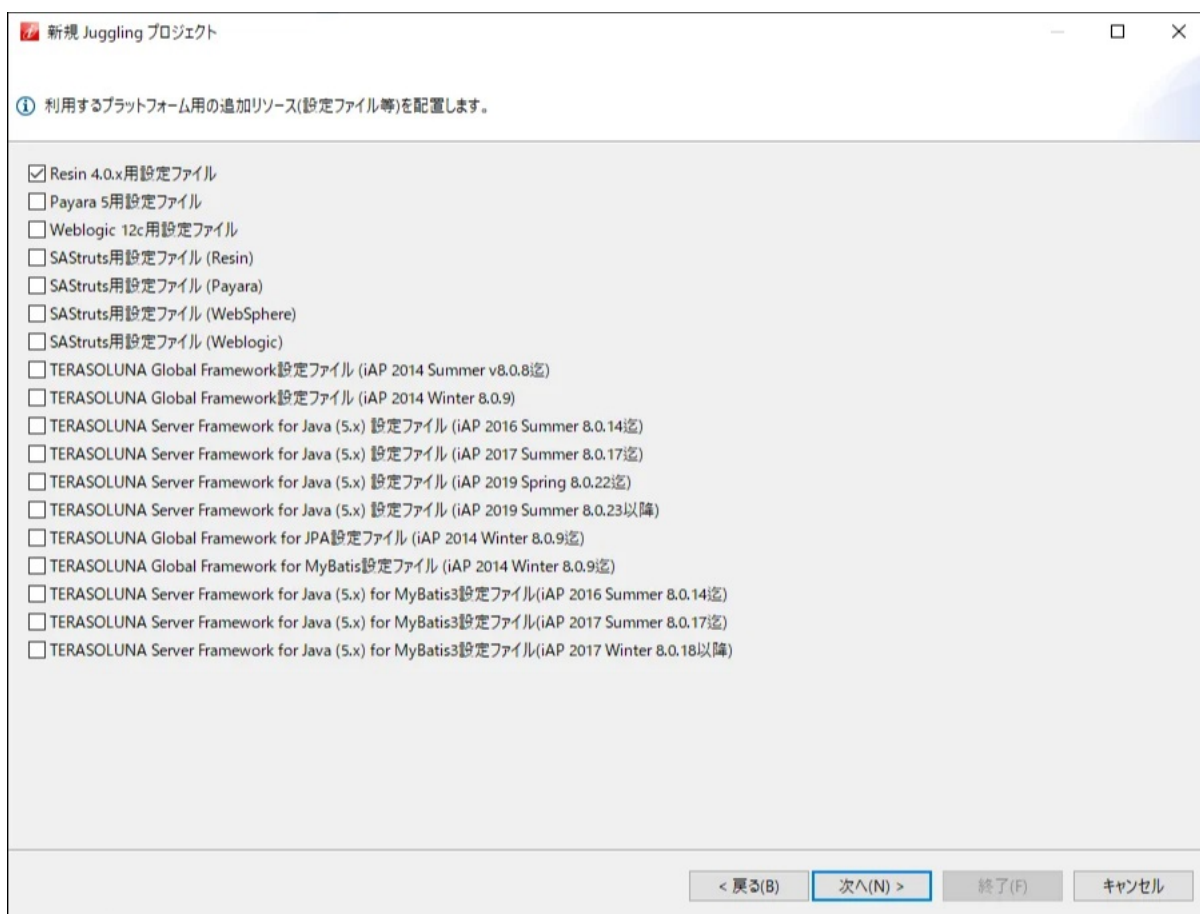
コラム

Forma全文検索は、intra-mart Accel Platform 2014 Summer(Honoka) IM-FormaDesigner for Accel Platform 8.0.7以降のバージョンで利用できます。

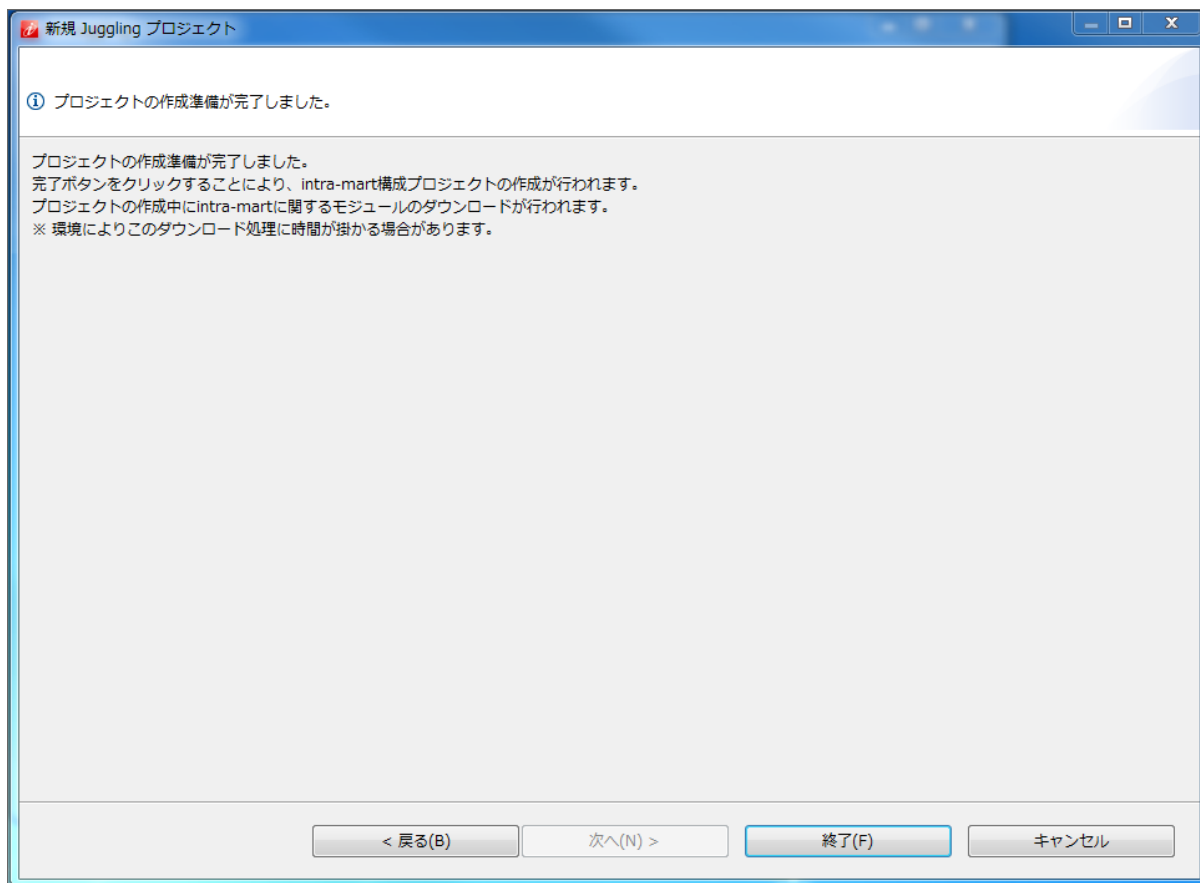
6. 利用するアプリケーションでは、「IM-FormaDesigner for Accel Platform」を選択します。選択後、「次へ (N)」をクリックします。



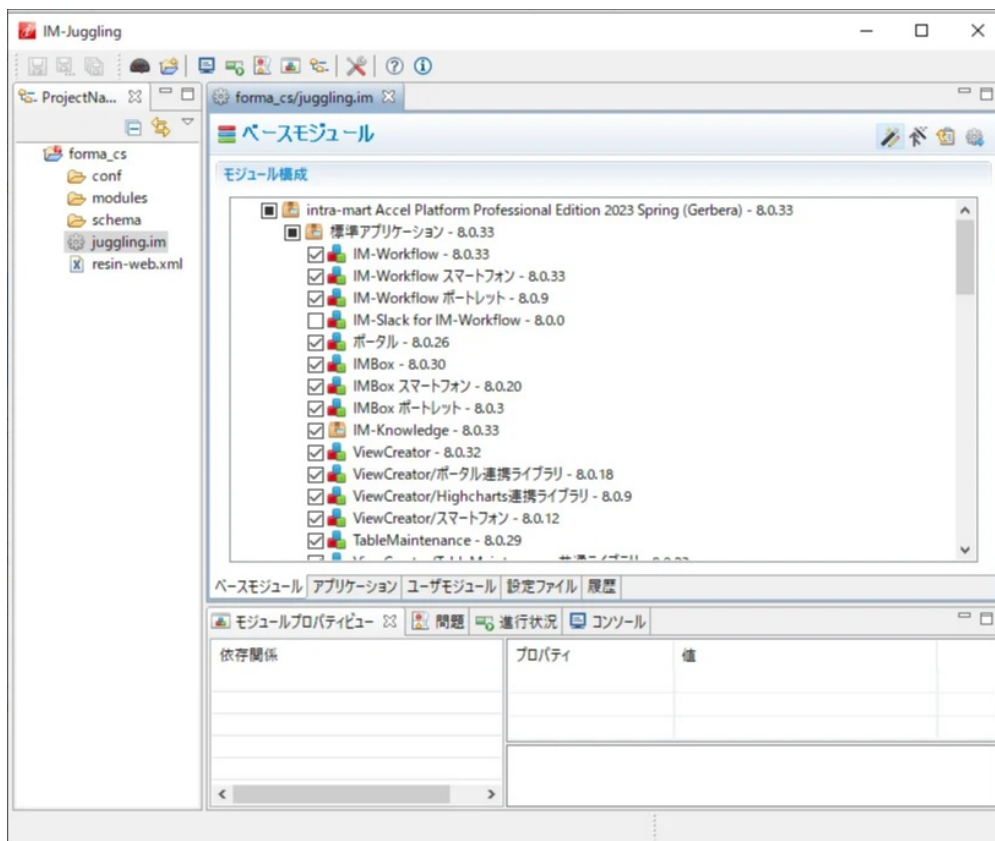
7. 利用するプラットフォーム用の追加リソース（設定ファイル等）を選択します。選択後、「次へ（N）」をクリックします。



8. 最後に「終了（F）」をクリックします。



9. プロジェクトの作成処理が行われ、完了すると以下の画面が表示されます。

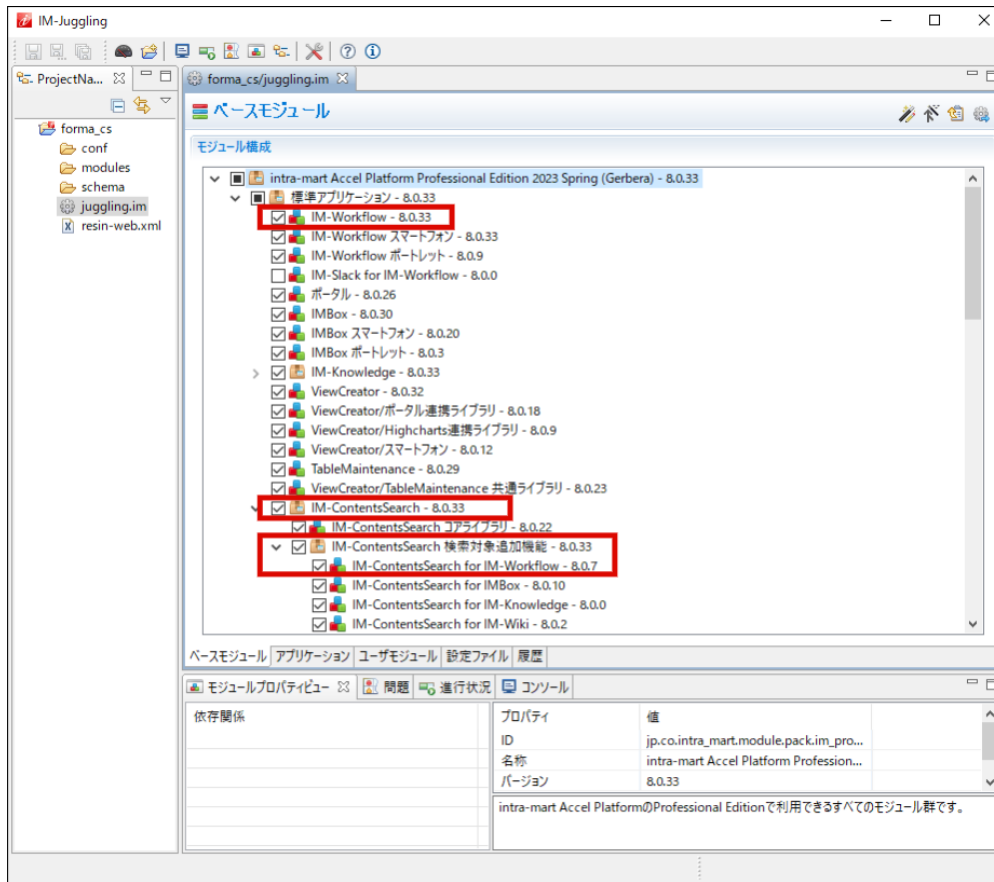


モジュールの選択

1. プロジェクト内に表示されているモジュールの右クリックメニューで表示されるサブメニューより、一括で関連するモジュールの選択、選択解除を行う事ができます。

2. 「ベースモジュール」タブで、以下のモジュールを選択します。

- IM-ContentsSearch
- IM-ContentsSearch 検索対象追加機能 - 「IM-ContentsSearch for IM-Workflow」
- IM-Workflow

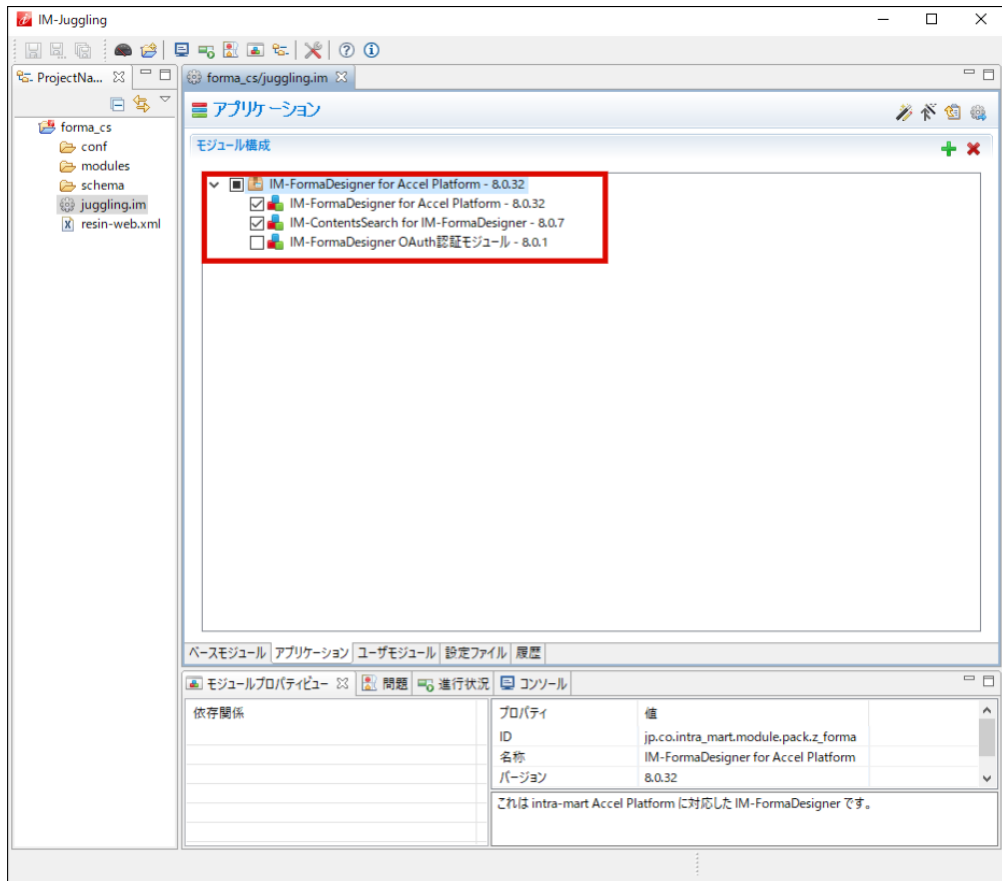


アプリケーションの追加

プロジェクト作成後、アプリケーションを追加できます。

1. 「アプリケーション」タブで、以下のモジュールを選択します。

- IM-FormaDesigner for Accel Platform
- IM-ContentsSearch for IM-FormaDesigner



以降は、「[intra-mart Accel Platform セットアップガイド](#)」に基づいて各種設定ファイルの編集・warファイルの作成を行い、アプリケーションサーバに展開してください。

Forma全文検索管理画面では、アプリケーションのフォームに配置した入力系アイテムから、全文検索の対象とする項目を設定することができます。

Forma全文検索の基本仕様

Forma全文検索の基本仕様は、以下の通りです。

- IM-FormaDesigner のクローラジョブは IM-Workflow 全文検索機能が提供するジョブ「ワークフロークローラ」に含まれます。
そのため、IM-Workflow の案件・フロー情報に関する全文検索の仕様については、「[IM-ContentsSearch for IM-Workflow仕様書](#)」を参照してください。
- Forma全文検索管理画面で、検索対象に選択できる項目（「検索対象項目設定に表示される項目」）はアプリケーションテーブル（ヘッダテーブル、明細テーブル）に列が作成されるアイテムと、画面アイテム「ファイルアップロード」です。
ファイルアップロード以外のアイテムに関して、フィールド値DB登録が無効、かつ、アプリケーションテーブルに列が作成されない項目（アイテム）となっている場合には、検索対象項目に含まれません。
- 画面アイテムのセレクトボックスの表示値・送信値など複数の値を持つ入力系アイテムの場合、送信値を対象とした検索を行います。

Forma全文検索管理画面の操作手順

Forma全文検索管理画面で、アプリケーションのフォームに配置した画面アイテムを検索対象に設定するには以下の手順で操作します。

1. 「サイトマップ」→「Forma全文検索管理画面」→（「Formaアプリ作成」または「Formaアプリ作成管理」→）「アプリ一覧」をクリックします。



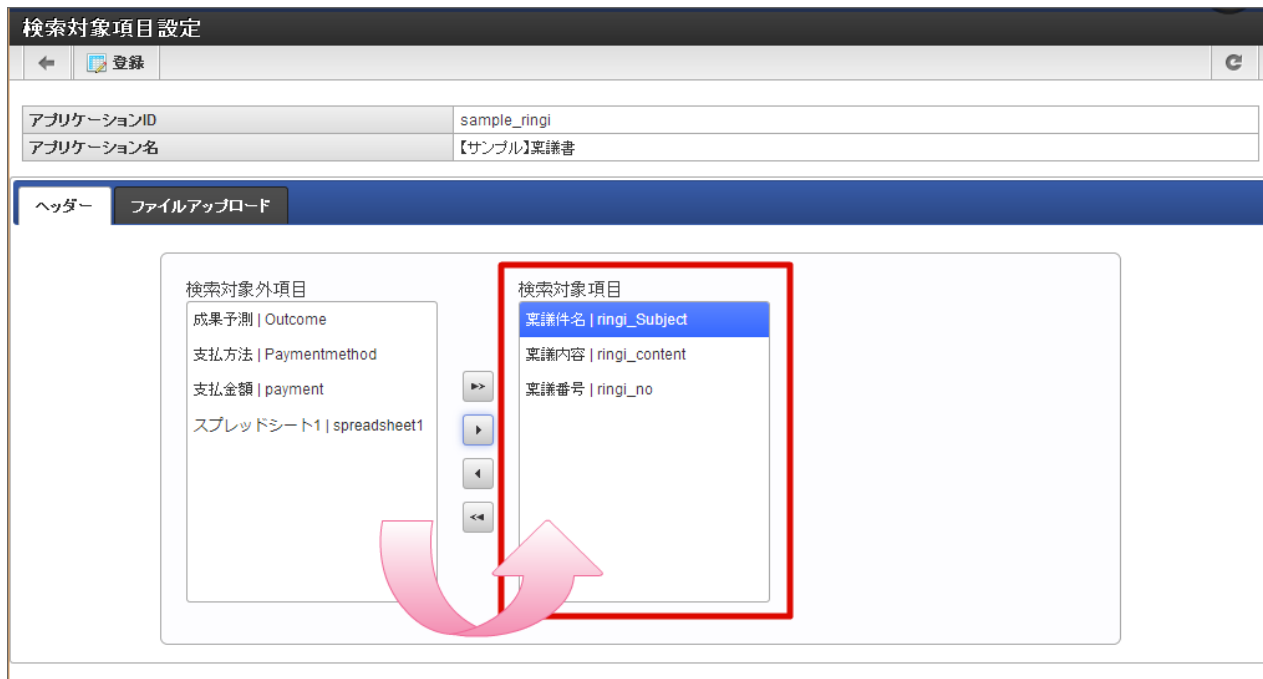
コラム

- 「Formaアプリ作成」から操作したい場合には、対象のユーザに「Formaアプリ作成者」のロールが付与されている必要があります。
- 「Formaアプリ作成管理」から操作したい場合には、「Formaアプリ作成管理者」のロールが付与されている必要があります。
BISで作成したフローの検索対象項目を設定する場合には、「Formaアプリ作成管理」からの操作となるため、「Formaアプリ作成管理者」のロールを付与してください。

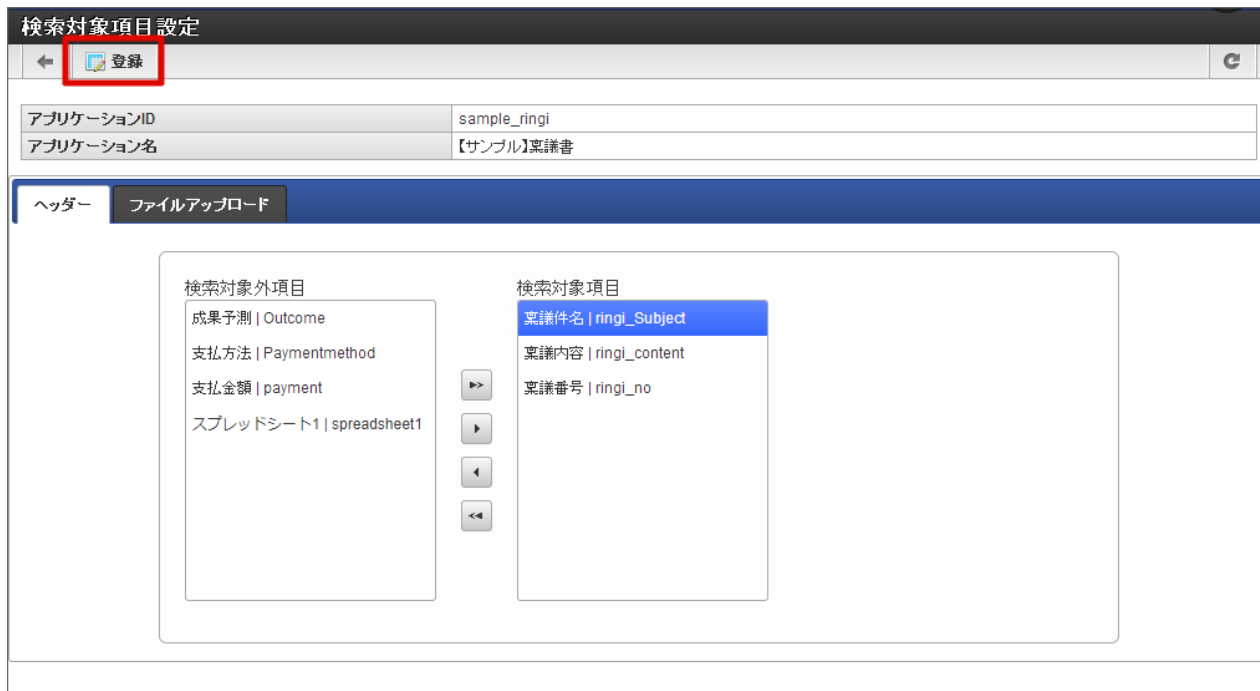
2. 検索対象の項目を設定したいアプリケーションの「編集」アイコンをクリックします。



3. 検索対象に追加できる項目が「フィールド識別名 (列名) | フィールド識別ID」の形式で「検索対象外項目」に表示されますので、検索対象とする項目を「検索対象項目」に移動します。
(画面アイテム「スプレッドシート」の場合、「アイテム名 | スプレッドシートID」の形式で表示します。)



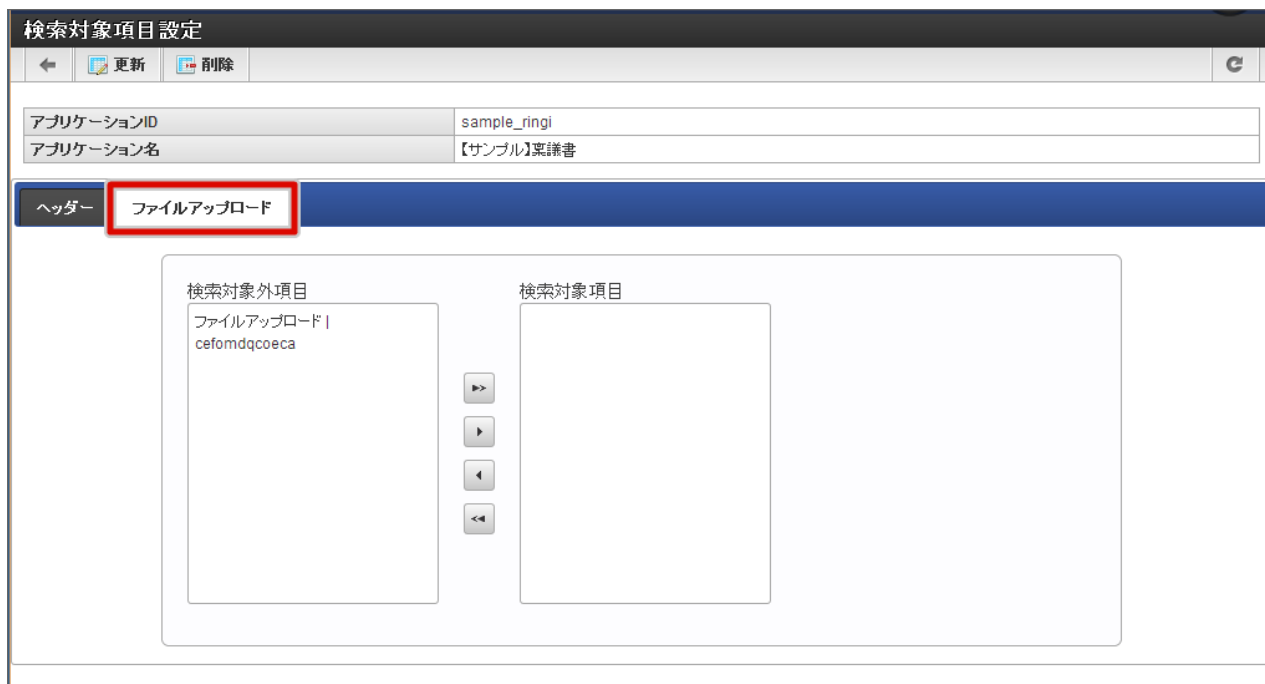
4. 設定し終わったら「登録」をクリックして保存します。
更新の場合、「更新」をクリックします。



5. フォームに画面アイテム「明細テーブル」、「グリッドテーブル」、「ファイルアップロード」、「スプレッドシート」を配置している場合、それぞれに対応したタブが表示されますので、各タブで検索対象の項目を設定します。

検索対象の設定後に、「登録」（更新）をクリックして保存してください。

- ファイルアップロードの場合



検索対象に追加できる項目が「アイテム名 | アイテム識別ID」の形式で表示されます。

- 明細テーブルとグリッドテーブルの場合

タブに「明細（{アイテム名}）」を表示します。

検索対象項目設定

← 登録

アプリケーションID sample_purchase_application
 アプリケーション名 【サンプル】備品購入申請(IMW)

ヘッダー **明細(購入明細テーブル)**

検索対象外項目

検索対象項目

メーカー | manufacturer

備品名 | equipment_name

単価 | price

合計 | sum

数量 | amount

発注先 | company_details

- スプレッドシートの場合

タブに「スプレッドシート（{アイテム名}）」を表示します。

検索対象項目設定

← 登録

アプリケーションID 5ibgqyp05zqrca5
 アプリケーション名 【サンプル】 サンプルユーザ情報変更申請

ヘッダー **スプレッドシート(ユーザー一覧スプレッドシート)**

検索対象外項目

title

user_table | date

user_table | mail

user_table | name

user_table | tel

検索対象項目

検索対象に追加できる項目が以下の形式で表示されます。

- フィールド定義
 - 「フィールド識別ID」
- テーブル定義
 - 「テーブル識別ID | フィールド識別ID」



コラム

スプレッドシートには二種類の検索設定があります。

1. 全文字検索（「ヘッダー」タブ）

- 選択したスプレッドシート内の全ての文字が検索対象です。
- 事前にスプレッドシートのシートDB登録を有効にする必要があります。
- 日付データはセルの書式に設定されているフォーマットでインデックスに登録されます。

2. バインディング値検索（「スプレッドシート（{アイテム名}）」タブ）

- 選択したバインディング値のみが検索対象です。
- 事前にスプレッドシートのバインディング値DB登録を有効にする必要があります。
- 日付データはテナント管理の「日付と時刻の形式」で設定されている日付の「標準表示」の形式でインデックスに登録されます。
 - テナント管理の「日付と時刻の形式」に関しては、「[テナント管理者操作ガイド](#)」の「[日付と時刻の形式を設定する](#)」を参照してください。
- 同じスプレッドシートに対し、全文字検索とバインディング値検索の両方が検索対象の場合は、全文字検索の設定のみが有効です。
- 画面アイテム「スプレッドシート」に関しては、「[IM-BIS デザイナヘルプ](#)」の「[スプレッドシート](#)」を参照してください。

IM-ContentsSearch、IM-ContentsSearch for IM-Workflow、IM-ContentsSearch 検索対象追加機能（IM-FormaDesigner）を設定している環境では、IM-Workflow と IM-FormaDesigner の案件の全文検索を行うことができます。

IM-Workflow 全文検索機能は、一時保存を除くすべての案件を対象に検索を実行できます。

Forma全文検索のクローラジョブの基本仕様

基本的な仕様に関しては、ワークフロークローラと同じ内容となるため、「[IM-ContentsSearch for IM-Workflow仕様書](#)」を参照してください。

- 差分クローリング
差分クローリングのタイミングは、ワークフローのクローラと同じく関連する案件の処理やアーカイブが行われたタイミングで、検索対象として登録、更新を行います。
Forma全文検索管理画面で対象項目を変更した場合には、再作成クローリングを行わないと、対象のすべての案件に設定した検索対象項目での検索が行えませんので注意してください。

Forma全文検索のクローラジョブの操作方法

Forma全文検索を行うためのクローリングジョブの実行手順は、以下の通りです。

1. 「サイトマップ」→「テナント管理」→「ジョブネット設定」をクリックします。
2. 「ジョブネット一覧」→「IM-ContentsSearch クローラ」から実行するクローラジョブをクリックします。





コラム

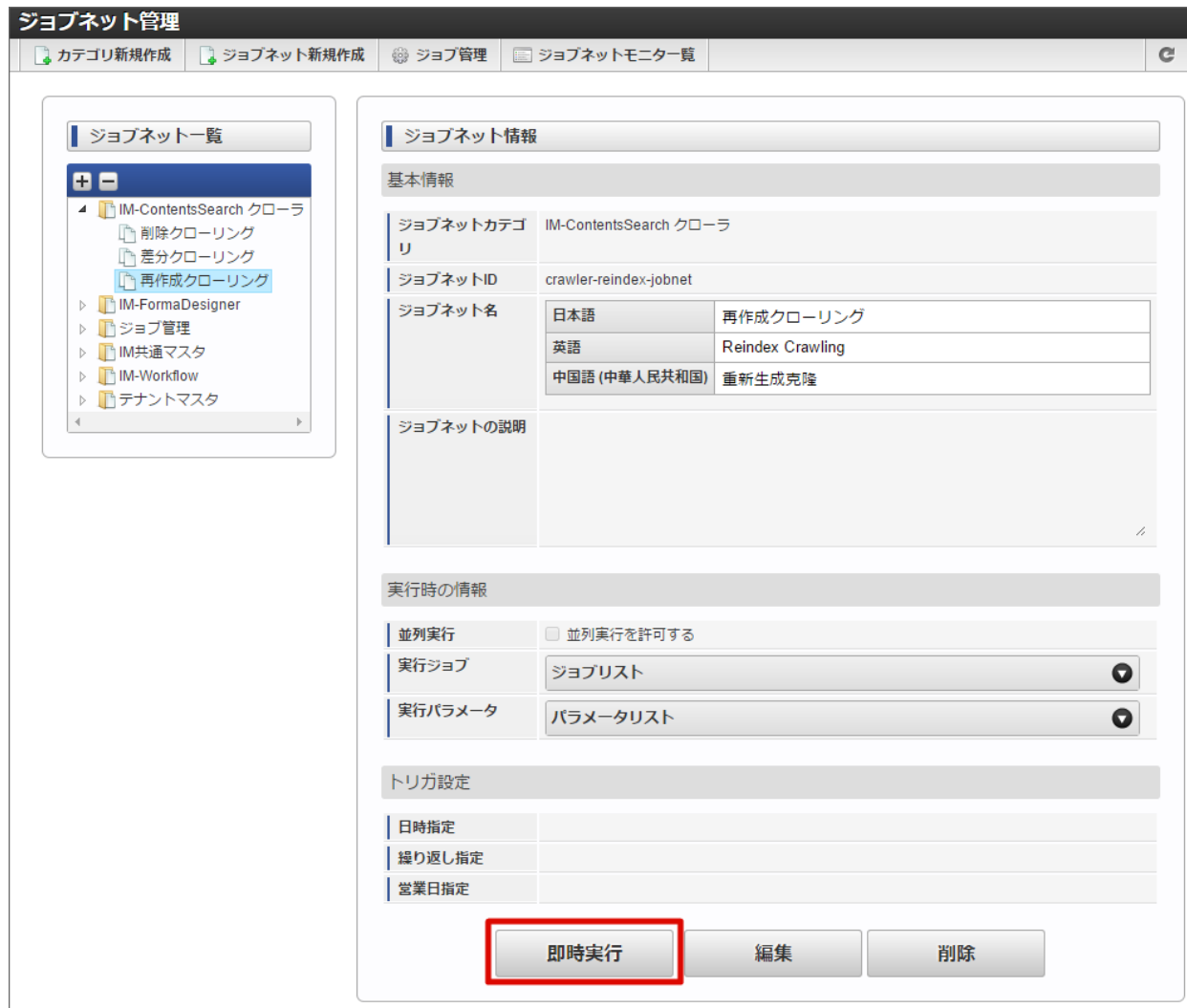
- 差分クローリング
最終クローリング日時より後に処理が行われた案件を対象としたクローリングを行う場合に実行します。
一度再作成クローリングを行った後に、定期的にクローリングを行う場合にはこの差分クローリングを実行します。
全文検索の対象項目に設定した内容を変更した場合、変更後に申請・承認等が行われた案件に対して検索対象（コンテンツ）を登録・更新したい場合などに実行します。
- 削除クローリング
以前に実行したクローリングで登録・更新されたコンテンツ（検索するための情報）を削除するためのジョブです。
再作成クローリングでは、内部的にこの削除クローリングの実行後に差分クローリングでコンテンツをすべて再作成しているため、単独で実行する必要はありません。
- 再作成クローリング
IM-ContentsSearch を設定した初回のクローリングを行う場合に実行します。
全文検索の対象項目に設定した内容を変更した場合、変更前から遡って検索対象（コンテンツ）を更新したい場合などに実行します。



注意

すべての案件を対象としたクローリングを行うため、案件数に比例して所要時間が長くなりますので、注意してください。

3. 「即時実行」をクリックします。ジョブが実行されます。



4. 「ジョブネットモニター一覧」をクリックします。



5. 実行したジョブのステータスが「成功」となっていることを確認します。

ジョブネットモニター

ジョブ管理 | ジョブネット管理

▼ 検索条件

ジョブネット:

トリガ:

ステータス: **全て** 実行中 エラー・警告 全てはずす

エラー 警告 強制終了 成功 実行中 停止中 停止処理中 再開処理中 終了処理中

開始日: ~

終了日: ~

メッセージ:

モニタID	ジョブネット	トリガID	ステータス	開始日	終了日	メッセージ
intra-martAPP:1	再作成クローリング (crawl	5ibbrt72nwx992i	成功	2014/08/26 17:3	2014/08/26 17:36:59	

1 ページ中 1 ページ目 | 10 | 1 件中 1 - 1 を表示

6. 以上で、クローリングジョブを実行することができました。

IM-ContentsSearch、IM-ContentsSearch for IM-Workflow、IM-ContentsSearch 検索対象追加機能（IM-FormaDesigner）を設定している環境では、IM-Workflow と IM-FormaDesigner の案件の全文検索を行うことができます。

IM-Workflow 全文検索機能は、すべての案件を対象に検索を実行できます。

案件検索

1. 「サイトマップ」→「ワークフロー」→「検索」をクリックします。
2. キーワードに検索したい案件の案件名などを入力し、「検索」をクリックします。

The screenshot shows a search interface with the following elements:

- Search input field: パソコン
- Search target dropdown: すべて
- Case status dropdown: すべて
- Search button: 検索

- キーワード
検索対象に指定した範囲に設定する検索条件となる語句を入力します。
スペースを含めた形で入力すると、AND条件による検索を実行します。
- 検索対象
「キーワード」に指定した語句を条件として、検索を行う案件情報の範囲を指定します。
選択値による検索範囲は、以下の通りです。
 - すべて
下記の案件名・テキスト・添付ファイルの対象範囲のすべてを検索対象とします。
 - 案件名
案件名を検索対象とします。
 - テキスト
案件情報のうち、下記の項目を検索対象とします。
(IM-ContentsSearch のテキスト情報に格納された情報です。)
 - フロー名（フロー定義の全ロケール分の名称）
 - 案件名
 - Forma全文検索管理画面で設定したアプリケーションの検索対象項目
 - 添付ファイル
申請・承認画面等の処理画面で添付されたファイル、画面アイテム「ファイルアップロード」で登録されたファイルの名称、ファイルの内容を検索対象とします。
- 案件状態

検索対象とする案件の状態を指定します。

- すべて
ユーザに処理権限、確認権限、参照権限のいずれかが付与されている未完了案件・完了案件・過去案件を検索対象とします。
- 未完了案件
ユーザに処理権限、確認権限、参照権限のいずれかが付与されている未完了案件を検索対象とします。
- 完了案件
ユーザに処理権限、確認権限、参照権限のいずれかが付与されている完了案件を検索対象とします。
- 過去案件
ユーザに処理権限（処理済）が付与されている過去案件を検索対象とします。

i コラム

検索結果に表示される案件の閲覧権限には、ワークフロー管理者、ワークフロー運用管理者（管理グループ）による権限は含まれません。
検索結果に表示させるためには、ワークフローの処理対象者、確認対象者、参照者のいずれかの権限を付与してください。

3. 検索結果が表示されますので、参照したい案件名をクリックします。



4. ポップアップで案件の詳細画面が表示されました。

稟議書

稟議番号: 1

稟議件名: 開発購入稟議

支払金額: 100,000 円

支払方法: 現金 銀行振込 リース

稟議内容: 開発用備品購入の件

成果予測:

参考資料:

ファイル名	備考	更新日

一覧へ戻る

コラム

IM-Workflow 全文検索の検索結果で表示できる案件の画面は、詳細画面のみとなるため、検索結果で表示した案件画面から処理を行うことはできません。

対象の案件の処理を行うためには、「ワークフロー」の「未処理」から案件の処理画面を表示するようにしてください。

コラム

Forma全文検索では、IM-FormaDesigner のアプリケーション種別が「IM-Workflow」のアプリケーションのみを検索対象としています。

 コラム

検索結果の表示（テンプレート仕様）

Forma全文検索では、Forma全文検索管理画面で対象の項目を設定していない場合、IM-Workflow 全文検索の仕様に基づいて検索が行われます。

また、Forma全文検索が設定されている場合には、検索結果（テンプレート仕様）で入力内容の要約が表示されますが、設定されていない場合には表示されません。

- Forma全文検索が設定されている場合

[中途社員向け備品購入の件](#)

2014/08/26 17:56:57 ワークフロー > 完了案件 > 【FormaDesigner】備品購入申請

案件番号：0000000004 フロー名：【FormaDesigner】備品購入申請

申請基準日：2014/08/26 申請者：上田辰男

60000 2 **パソコン** 100000 200000

- Forma全文検索が設定されていない場合

[パソコン購入稟議](#)

2014/08/26 18:19:12 ワークフロー > 未完了案件 > 【FormaDesigner】稟議書

案件番号：0000000009 フロー名：【FormaDesigner】稟議書

申請基準日：2014/08/26 申請者：青柳辰巳